



校長室だより No.12 令和4年7月7日(木)

## 図文化芸術の振興 シティプロモーション活動 オカザえもん10周年事業 4年生

6月24日(金)に、オカザえもんが来校し、4年生と一緒に図工の授業を行い、テーマに沿った絵を描きました。

オカザえもん10周年事業は、岡崎市シティプロモーション活動の一環として行われ、児童が参加することにより魅力発信の楽しさをわかってもらうことや、岡崎への愛着をもってもらうことを期待した事業です。



4年生の子供たちは、オカザえもん脚本の「岡崎を舞台にした物語」の各シーンを八つ切り画用紙に鉛筆で下書きをし、色鉛筆やカラーペン、クレヨンなどを使い、テーマに沿った絵になるよう自分で想像しながら思い思いに描きました。



子供たちが描いた絵は映像に編集され、10月29日から11月6日に、図書館交流プラザりぶらで開催される「オカザえもん10周年芸術祭」で公開されます。市内の小学校10校の共同による650枚ほどの絵が、紙芝居のような映像作品となります。自分たちの描いた絵が、どんな映像作品に仕上がるのか完成が楽しみです。



6月29日(水)に、4年生が環境学習の一環として、岡崎市鳥川町にある「ホタル学校」へ行ってきました。ホタル学校は、大雨河小学校の校舎を活用し、平成24年4月に開校しました。校内には、ホタルの幼虫が飼育されていていつでも観察することができたり、パネルや模型からホタルと自然のつながりを学んだり、ホタルと人との共存、保護活動の歴史を学んだりすることができます。休日には観察会や体験型イベント等



も催されたり、周辺に整備された17kmの山歩きコースでホタルの住む里山散策を楽しんだりすることもできるそうです。

4年生の子供たちは、校舎内でホタルクイズに挑戦しながら生き物や自然について学んだり、フィールドビンゴを楽しみながら周辺の里山を散策して水や木々について学びました。特に、鳥川での生き物調べには、目をきらきらさせながら夢中になって取り組んでいました。友達と一緒にきれいな水の指標となるサワガニやカゲロウ、カワゲラ、カワニナなどの生き物を見つけて、青木川との違いを実感していました。

これからも、心をときめかせ、みんなで学びを深められるとよいですね。